

あなたの農業経営をサポートします。

アグリいしかり

石狩市農業総合支援センター通信
第16号 2013年6月 発行



「サツマイモ」栽培適正試験

一昨年から取り組んでいる JA いしかり青年部が本センター試験圃場で約4畝の面積で800株を植えるため高畝作りを行いました。

農地利用集積円滑化事業を利用しませんか？

農家のみなさん！農地の利用について、こんな悩みはありませんか？
農地の貸付けの相手先探しをお手伝いします！

白紙委任

※農地の貸付け先の相手を指定できません。

協議・調整

※認定農業者を含む担い手農家の中から、選定します。

石狩市農地
利用集積
円滑化団体
(石狩市)



貸し手のメリット

- ・貸した農地は、契約満了に伴い戻ってきます。
- ・農地集積協力が交付されます。

※ただし要件があります。

借り手のメリット

- ・希望条件に基づいて農用地を斡旋します。
- ・戸別所得補償制度の規模拡大加算が交付されます。

※ただし要件があります。

- ・後継者がいないので規模を縮小したい
- ・農作業がきびしくなってきた…
- ・安心して託せる人がいない



詳しくは下記の連絡先へお問合せください！

石狩市農地利用集積円滑化団体（石狩市）

事務局：石狩市企画経済部農林水産課

TEL 0133-72-3164

石狩市農業総合支援センター

☎ (0133) 66-3345

<http://www.ishikari-asc.jp/>

今年度事業計画決定

4月17日、市役所において石狩市、市農業委員会、JAいしかり、JA北いしかり関係者出席のもと、平成25年度の総会が開催されました。事業計画について以下のとおりです。

1. 担い手育成支援対策

■地域づくり事業

一昨年度より継続している石狩生振・高岡地区、厚田地区、浜益地区の4地区を対象として位置付け、将来を見据えた継続可能な「もっかる農業」を実践するため、その地域の進むべき方向を地域の農業者とともに検討し実践することを目的として、地域で抱える様々な課題と問題点を洗い直しその解決に向けて取り組んでいきます。

■後継者育成事業「いしかり塾」

地域農業後継者同士の仲間作り、石狩農業のPRを行うため、札幌市の天使大学生と交流会・商品開発などを開催します。また都市部に住む独身女性と農業青年との婚活バスツアーを企画・実施します。

■人・農地プランに向けた推進

地域の農業のあり方を示す「人・農地プラン」が作成されましたが、そのプランに基づき農地の集積・連担化及び青年就農給付金・農地集積金など地域関係者との合意形成の推進を図ります。

■新規就農者育成事業

対象者には昨年度より青年就農給付金が交付されることになり、制度を有効に利用しながら、従来の本センターでの相談対応のほか新農業人フェアへの出展や試験的に市図書館で相談コーナーを設けて対応するなど本市への就農希望相談の拡大を図ります。

JGAP取得

このほど北生振地区の熊倉守さんが、石狩市内で初めてJGAP・穀物(米・麦)の認証を取得しました。

GAPは食品の安全性確保や環境保全、労働安全など生産工程に関する検査項目に沿って農作業を実施、検証手法です。

JGAPは個別の生産者が受ける個別承認と生産団体が受ける団体承認があります。熊倉さんは2年前から認証取得に向けて準備を進めてきました。今後更なる、安全、良質な農産物生産の取り組みを消費者に向けて発信していく予定です。



活動成果と発表

石狩北部地区指導農業士会・農業士会、石狩振興局主催の平成24年度石狩北部「担い手フォーラム」が3月4日、JA新しので開催されました。

はじめの講演で長沼町、駒谷保子さんの「街ぐるみ・家族ぐるみの農業体験による地域活性化を目指して！」と題して町内で取り組んでいるグリーンツーリズムの説明がありました。

その後各地域青年グループ事例発表で花畔地区の大村喜輝さんが「いしかり塾って何」と題して今まで活動内容の発表を行い、婚活の話にも触れて本人も4月に結婚する話がなされると会場から盛んな拍手が送られています。



駒谷さん



大村さん

2. 新たなブランド化事業

指導農業士・農業士支援対策現在、市内には指導農業士2名、農業士16名が認定されていますが、今後資格者相互の研さんや新規就農者等の支援を活性化させるための支援を図っていきます。

新たなブランド化事業

一昨年度に続き石狩地域の特性を生かし、クリーンで高収益な野菜のブランド化を目指し、地物市場「とれのさと」で試験販売し、その可能性のある野菜を組合員と地域に普及させることを目的として栽培試験を行っていきます。

試験圃場 八幡1丁目415番地1

■新作物試験栽培(ハマボウフウ・サツマイモ・落花生・アイスパラント他)の取り組みをしていきます。

■JAいしかり青年部と共同で一昨年に続きサツマイモの栽培試験を行い石狩に適した品種の選定をします。

■6次産業化への取り組み

生産者、普及センターとタイアップして地物市場「とれのさと」農産物加工体験施設で、試作・販売を行い高付加価値商品の開発の検討を行います。

■各生産者組織からの受託試験

人参加部会・さやえんどう部会・

プロッコリー部会・青果課より受託。

生産性の向上と安全・安心な農産物生産支援事業

■生産性の向上とJGAPなどの推進

■安全・安心な農産物生産の推進

広報・宣伝活動

4. ホームページ (<http://www.isikari-asc.jp>) アグリいしかりの発行

5. 地域特性推進事業

■厚田区、浜益区での地域特性事業を支援していきます。



総会の様子

家庭菜園の基礎を学ぶ

地場農産物と石狩農業への理解を深めるための市民講座、いしかり食と農のカレッジの一講座として今年で2年目になる「基礎から始める家庭菜園」を5月11日、本センター試験圃場で開催しました。

昨年、市民から「家庭菜園を始めたが何をすれば分からない。」「基本的なことを知りたい。」という要望があり、カリキュラムを検討して5月から10月まで半年間、月一回の講座を開いていきます。受講者は9組で各自希望する作物を選び、本センター技術職員による指導を受けていきます。「ここで学ぶ以外に石狩の農業にも関心を持って、農業や農家の共感を深めてほしい。」と期待をしています。



初日の講義